

ムギ類の赤かび病の防除について

ムギ類の赤かび病の防除は、第1回目の防除を遅れずに実施することが最も重要です。本年の生育概況は概ね平年並み(11月播種)であり、また、1か月予報(3月13日気象庁発表)も、平均気温、降水量ともほぼ平年並みの見込みとなっていることから、出穂時期も平年並みと予想されます。ほ場の生育状況を注視し、下記により適期防除の徹底をお願いします。

記

1 防除時期

- ・ 1回目：小麦・裸麦では開花始め^{*}
二条大麦では葯殻抽出期(穂揃期後10日頃)

※同一ほ場で開花がばらつく場合は、開花を認め次第直ちに防除を行う。

- ・ 2回目：第1回目の防除後、7～10日頃
- ・ 3回目：第2回目の防除後、7～10日頃^{*}

※穂に症状(桃色のかび)が目立ってくるのは乳熟期以降であるため、症状が見られなくても、3回の防除を必ず実施する。

2 防除薬剤

別表を参照。

3 防除上注意すべき事項

薬剤耐性の発達を避けるため、同一系統薬剤の連用は避ける。



赤かび病の被害穂

表 麦類赤かび病主要防除薬剤 (令和7年3月現在)

殺菌剤 コード	薬 剤 名	適用登録		希釈倍数・使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数
		小麦	大麦			
3	ワークアップフロアブル	○	○	2000~3000倍, 60~150L/10a	収穫7日前まで	3回以内
		ブーム	ブーム	500~750倍, 25L/10a		
		無人航	無人航	10~24倍, 0.8L/10a		
	ワークアップ粉剤DL	○	○	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
		○	—	1000~2000倍, 60~150L/10a	収穫3日前まで	3回以内
	チルト乳剤25	—	○	150L/10a	収穫21日前まで	1回
		無人航	—	8倍, 0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内
		—	無人航	—	—	—
		—	無人航	—	—	—
	シルバキュアフロアブル	○	—	2000倍, 60~150L/10a	収穫7日前まで	2回以内
—		○	—	—		
ブーム		—	500倍, 25L/10a	収穫7日前まで		
無人航		—	16倍, 0.8L/10a	—		
トリフミン水和剤	○	○	1000~2000倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	
トリフミン乳剤	○	—	1000倍, 60~150L/10a	収穫3日前まで	3回以内	
11	ストロビーフロアブル	○	○	2000~3000倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内
		ブーム	—	500倍, 25L/10a		
	ファンタジスタフロアブル	○	—	2000倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内
無人航		—	16倍, 0.8L/10a	3回以内		
ファンタジスタ顆粒水和剤	○	—	2000~4000倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	
1	トップジンM水和剤	○	—	1000~1500倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は2回以内)
		—	○	150L/10a	—	—
		ブーム	—	250倍, 25L/10a	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は2回以内)
	トップジンMゾル	○	—	1000~1500倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は2回以内)
		—	○	1500倍, 60~150L/10a		3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)
		無人航	—	8倍, 0.8L/10a		3回以内(但し、出穂期以降は2回以内)
		—	無人航	—		—
	トップジンM粉剤DL	○	—	3~4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は2回以内)
—		○	4kg/10a	3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)		
スミトップM粉剤	○	○	4kg/10a	収穫14日前まで	1回	
7	ミラビスフロアブル	○	—	1500~2000倍, 50~150L/10a	収穫7日前まで	2回以内
		—	○	1500~2000倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	
		ブーム	—	250~500倍, 25L/10a	—	
		無人航	—	—	—	
		—	無人航	8~16倍, 0.8L/10a	—	
MO7 1	ベフトップジンフロアブル(劇)	○	—	800~1000倍, 60~180L/10a	収穫14日前まで	3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)
		—	○	1000倍, 60~180L/10a		2回以内(但し、出穂期以降は1回以内)
		ブーム	—	250倍, 25L/10a		3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)
		無人航	—	8倍, 0.8L/10a		3回以内(但し、出穂期以降は1回以内)
MO4	オーソサイド水和剤80	○	—	600~1000倍, 60~150L/10a	収穫14日前まで	4回以内
MO2	サルファーゾル	○	○	400倍	発病前~発病初期	—
	石灰硫黄合剤	○	○	50~60倍	—	—

○; 通常散布 無人航; 無人航空機(無人ヘリコプター、ドローン等)

ブーム; 少量散布に適したノズルを装着した乗用型の速度運動式地上液剤散布装置